



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

チュニジア：国民対話で与野党が新首相候補について合意

12月14日、チュニジアで与野党間の国民対話を仲介するチュニジア労働組合総連合(UGTT)のアッパースィー会長は、与野党はマフディー（メヘディー）・ジュマア産業相を次期選挙管理内閣の首相候補とすることで合意したと発表した。10月26日から開始された国民対話は、与野党が新首相の人選で対立したため、11月4日に無期限停止が発表された。その後、アッパースィーUGTT会長は首相候補決定の期日を12月14日に再設定し、与野党協議が続けられていた。

『ハヤート』紙によれば、14日の国民対話総会には19政党が参加し、うち9政党がジュマアに投票した。今後の国民対話の流れとしては、大統領が正式にジュマアを暫定首相として任命した後、選挙管理内閣作りに入る。議会選挙が実施された後に、選挙管理内閣は解散される。また、18日からは、憲法草案の仕上げと議会選挙の日程に関する協議が開始される予定。

新暫定首相候補は決定されたものの、野党からは、ジュマアが現政権の閣僚であることなどを理由に反対する声も出ている。

\* マフディー・ジュマア略歴

1962年9月21日生

1989 National Institute of Engineering in Tunis (ENIT) 大学院ディプロマ取得

1998 Hutchinson Aerospace 入社

2009-2013 Hutchinson Aerospace 社 Aerospace Division Director

2013年2月 アリー・アリード連立内閣（ナフダ党中心）に産業相として入閣

(金谷研究員)